

令和7年度 特別講演（秋）

□ 演題

「東日本大震災など災害の実態と教訓 ～ 次に備えるために」

□ 講師

東北大学 副学長・災害科学国際研究所 教授 今村文彦 様

□ 講演内容

今年は、広域で甚大な複合被害となった東日本大震災から15年が経過しようとしている。それ以降も自然災害が発生しており当日の経験や教訓を整理したい。その上で、首都直下地震、南海トラフ巨大地震の切迫性は高まり、各地域ではさまざまな自然災害や気候変動の影響が次々と起こっている中で、教訓を活かした防災対応や対策を強化していきたい。国民の中で防災への関心は高いが、意識や具体的な対策については課題が多い。そのため、自分事化や他分野とコラボした新しい防災・現在の取組を紹介したい。

□ 講師経歴

山梨県甲斐市生まれ、甲府第一高校卒業、東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了。同大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授、同教授を経て、2014年より2023年まで災害科学国際研究所長。2025年4月より副学長（社会連携・校友会・基金担当）。専門は津波工学および自然災害科学で、津波被害の軽減を目指し、津波予警報システムの開発や太平洋での防災対策等の研究を数多く実施。津波数値技術移転国際プロジェクト TIME の代表。自然災害学会元会長、中央防災会議専門調査会委員、東日本大震災復興構想会議検討部会委員、など。現在、復興庁復興推進委員会委員長、一般財団法人3.11伝承ロード推進機構代表理事、土木学会副会長など。

□ 研究内容

自然災害と地域で事前防災

□ 趣味

歩くこと